



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 丸建リース株式会社（旧社名：丸紅建材リース株式会社） 上場取引所 東
コード番号 9763 URL <https://www.maruken-lease.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 井ノ上 雅弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 新井 祐宏（TEL）03(5404)8200
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12,777	13.7	785	9.0	1,168	45.3	825	43.8
2025年3月期中間期	11,241	15.4	721	39.1	804	29.4	574	29.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 856百万円（26.1%） 2025年3月期中間期 679百万円（7.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	260.30	—
2025年3月期中間期	181.04	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	38,404	18,042	45.4
2025年3月期	37,963	17,469	44.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 17,445百万円 2025年3月期 16,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	65.00	—	75.00	140.00
2026年3月期	—	73.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	84.00	157.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（2025年11月7日）公表いたしました「2026年3月期通期の連結業績予想修正並びに中間配当（増配）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2026年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当73円

2026年3月期（予想）期末配当の内訳 普通配当74円 記念配当10円（商号変更記念配当）

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	11.8	1,550	2.4	1,870	8.6	1,330	9.1	419.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2025年11月7日）公表いたしました「2026年3月期通期の連結業績予想修正並びに中間配当（増配）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	3,429,440株	2025年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	256,812株	2025年3月期	256,569株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	3,172,749株	2025年3月期中間期	3,173,090株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（当社の商号変更について）

2025年10月1日付で、当社の商号を「丸紅建材リース株式会社」から「丸建リース株式会社」に変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の関税政策や中国経済の減速といった海外要因により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界では、公共事業や大規模再開発は堅調に推移しているものの、資機材価格の高騰や人手不足は改善せず、厳しい状態が続いております。

このような環境のなか、当社グループは2年目を迎えた5カ年の中期経営計画『共に築こう、未来のインフラ都市創出』計画達成に向けた施策に引き続き取り組んでおります。国内事業は概ね堅調に推移し、海外(タイ・中国)の事業会社においては回復の兆しが見受けられました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は127億77百万円(前年同期比15億36百万円、13.7%増)、営業利益は7億85百万円(同64百万円、9.0%増)、経常利益11億68百万円(同3億64百万円、45.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益8億25百万円(同2億51百万円、43.8%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 重仮設事業

国内の業績は、案件進捗に伴う稼働量の増加などにより概ね計画通りに推移し、売上高は95億円(前年同期比12億65百万円、15.4%増)、セグメント利益は10億57百万円(同1億50百万円、16.5%増)となりました。

② 重仮設等工事事業

受注済み工事案件の採算性の向上および、2025年2月に取得した竹本基礎工事㈱の業績反映により、売上高は24億77百万円(同3億66百万円、17.3%増)、セグメント利益は91百万円(同16百万円、22.1%増)となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

工場プラント工事が堅調に推移した一方で、設備工事は一部案件の進捗が計画を下回り、売上高は7億99百万円(同95百万円、10.7%減)、セグメント利益は25百万円(同30百万円、55.2%減)となりました。

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は384億4百万円となり、前期末比4億40百万円増加いたしました。現金及び預金の増加額6億26百万円と電子記録債権の減少額2億55百万円などによるものです。

負債合計は203億62百万円となり、前期末比1億31百万円減少いたしました。借入金の増加額4億78百万円と契約負債の増加額7億51百万円、支払手形及び買掛金の減少額11億87百万円と電子記録債務の減少額3億2百万円などによるものです。

純資産合計は180億42百万円となり、前期末比5億72百万円増加いたしました。親会社株主に帰属する中間純利益8億25百万円の計上などによるものであり、自己資本比率は1.1ポイント増の45.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億3百万円(前年同期比5億78百万円の収入減)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益11億68百万円の計上、利息及び配当金の受取額7億2百万円と仕入債務の減少額14億55百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△2億5百万円(前年同期比1億15百万円の支出増)となりました。これは主に、当社工場設備を中心とした有形固定資産の取得による支出1億95百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億29百万円(前年同期は△1億8百万円)となりました。これは主に、借入金の増加額4億78百万円と配当金の支払2億37百万円などによるものであります。

以上の結果、当中間期末の現金及び現金同等物は、前期末比6億26百万円増の26億27百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2026年3月期の連結業績予想については、足元の業績動向等を踏まえ、期初公表値から上方修正しております。修正後の連結業績予想の詳細については、別紙「2026年3月期通期の連結業績予想修正並びに中間配当(増配)および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000	2,627
受取手形、売掛金及び契約資産	5,447	5,401
電子記録債権	1,851	1,596
建設機材	11,241	11,335
商品	695	809
仕掛品	608	454
材料貯蔵品	258	259
未成工事支出金	111	111
その他	217	502
貸倒引当金	△51	△43
流動資産合計	22,381	23,055
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,088	8,088
その他(純額)	1,401	1,437
有形固定資産合計	9,489	9,526
無形固定資産		
のれん	667	652
その他	14	21
無形固定資産合計	681	673
投資その他の資産		
投資有価証券	5,179	4,909
退職給付に係る資産	89	100
その他	155	150
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	5,410	5,148
固定資産合計	15,582	15,349
資産合計	37,963	38,404

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,569	4,381
電子記録債務	2,611	2,308
短期借入金	3,706	2,811
1年内返済予定の長期借入金	1,490	2,271
未払法人税等	213	311
契約負債	830	1,581
賞与引当金	314	348
その他の引当金	40	19
その他	1,380	1,344
流動負債合計	16,156	15,377
固定負債		
長期借入金	3,104	3,697
退職給付に係る負債	25	26
その他	1,207	1,261
固定負債合計	4,337	4,984
負債合計	20,493	20,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	10,751	11,339
自己株式	△438	△439
株主資本合計	13,888	14,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	765
土地再評価差額金	1,947	1,947
為替換算調整勘定	477	365
退職給付に係る調整累計額	△107	△109
その他の包括利益累計額合計	2,929	2,969
非支配株主持分	651	596
純資産合計	17,469	18,042
負債純資産合計	37,963	38,404

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,241	12,777
売上原価	9,225	10,452
売上総利益	2,015	2,324
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	578	666
福利厚生費	144	170
地代家賃	91	91
退職給付費用	6	16
貸倒引当金繰入額	1	0
賞与引当金繰入額	201	229
その他	270	363
販売費及び一般管理費合計	1,294	1,538
営業利益	721	785
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	27
持分法による投資利益	45	347
その他	37	56
営業外収益合計	106	431
営業外費用		
支払利息	17	38
その他	5	10
営業外費用合計	23	48
経常利益	804	1,168
税金等調整前中間純利益	804	1,168
法人税、住民税及び事業税	161	358
法人税等調整額	89	△6
法人税等合計	251	352
中間純利益	553	816
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△21	△9
親会社株主に帰属する中間純利益	574	825

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	553	816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	154
退職給付に係る調整額	2	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	141	△111
その他の包括利益合計	125	39
中間包括利益	679	856
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	638	911
非支配株主に係る中間包括利益	40	△55

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	804	1,168
減価償却費	87	161
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23	△16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△10
受取利息及び受取配当金	△23	△28
支払利息	17	38
持分法による投資損益(△は益)	△45	△347
売上債権の増減額(△は増加)	862	301
棚卸資産の増減額(△は増加)	△462	△196
仕入債務の増減額(△は減少)	535	△1,455
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13	125
引当金の増減額(△は減少)	△8	12
その他	△402	439
小計	1,324	195
利息及び配当金の受取額	35	702
利息の支払額	△12	△34
法人税等の支払額	△165	△260
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,181	603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△90	△195
その他	0	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,270	△895
長期借入れによる収入	2,000	2,200
長期借入金の返済による支出	△612	△826
リース債務の返済による支出	△9	△11
配当金の支払額	△215	△237
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	982	626
現金及び現金同等物の期首残高	443	2,000
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,426	2,627

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	重仮設	重仮設等工事	土木・上下水道 施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	6,895	—	317	7,213	—	7,213
一定の期間にわたり移転 される財	1,339	2,111	577	4,027	—	4,027
顧客との契約から生じる 収益	8,234	2,111	895	11,241	—	11,241
外部顧客への売上高	8,234	2,111	895	11,241	—	11,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,234	2,111	895	11,241	—	11,241
セグメント利益	907	75	55	1,038	△316	721

(注) 1 セグメント利益の調整額△316百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	重仮設	重仮設等工事	土木・上下水道 施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	7,932	—	385	8,317	—	8,317
一定の期間にわたり移転 される財	1,567	2,477	414	4,459	—	4,459
顧客との契約から生じる 収益	9,500	2,477	799	12,777	—	12,777
外部顧客への売上高	9,500	2,477	799	12,777	—	12,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,500	2,477	799	12,777	—	12,777
セグメント利益	1,057	91	25	1,173	△387	785

(注) 1 セグメント利益の調整額△387百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。